

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	保健体育 4	
科目基礎情報							
科目番号		101561		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		実技		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		環境材料工学科		対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		高専の健康科学 (鈴木製本所)					
担当教員		茅田 博範,安藤 進一					
到達目標							
1.教材に用いた運動種目の個人的・集団的技能を習得する。 2.自分の体力について理解することにより、日常生活の改善を図る。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		教材に用いた運動種目について、発展的な技能を習得しゲームなどで発揮できる。		教材に用いた運動種目について、基礎的な技能を発揮できる。		教材に用いた運動種目について、基礎的な技能の習得が不十分である。	
評価項目2		スポーツテストの結果を通して自分の体力の現状を知り、日常生活の改善に反映できる。		スポーツテストの結果を通して自分の体力の現状を評価できる。		健康的な生活の営みに、体力増進の必要性が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教養 (D)							
教育方法等							
概要		- 生涯学習の観点から、将来社会体育の中でプレーすることのできる技能の習得 - 公正な態度、積極的参加、自主的活動の養成 - 自分の体力についての客観的な理解と改善方法の理解					
授業の進め方・方法		- 小集団（グループ・チーム）分けにより参加度の偏りがないよう配慮している。 - 企画・運営を自主的に行う。 - 生物応用化学科は選択必修科目ではありません					
注意点		- 服装は運動するのにふさわしい服（体操服・ジャージ・運動靴）で出席すること。 - 病気が等で見学する場合は、事前に申し出ること。 - 長期見学、欠席の場合は診断書を提出すること。 - 体調を整えて出席すること。					
本科目の区分							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	スポーツテスト ガイダンス・企画及び運営方法の説明				
		2週	ソフトボール・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		3週	ソフトボール・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		4週	ソフトボール・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		5週	保健（1）スポーツテストの結果を通して自分の体力の現状を知る			到達目標2	
		6週	サッカー・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		7週	バスケットボール・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		8週	サッカー・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
	4thQ	9週	バスケットボール・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		10週	保健（2）健康における・体力増進の必要性と改善方法について			到達目標2	
		11週	バスケットボール・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		12週	サッカー・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		13週	バスケットボール・テニス・バドミントン・卓球 基本練習・ゲーム			到達目標 1	
		14週	保健（3）肥満を予防するための効果的な運動と食事について			到達目標2	
		15週	テスト				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	学生であっても社会全体を構成している一員としての意識を持って、行動することができる。		3	

			チームワークの必要性・ルール・マナーを理解し、自分の感情の抑制、コントロールをし、他者の意見を尊重し、適切なコミュニケーションを持つとともに、当事者意識を持ち協調して共同作業・研究をすすめることができる。	3	
			先にたって行動の模範を示すことができる。口頭などで説明し、他者に対し適切な協調行動を促し、共同作業・研究をすすめることができる。	3	
評価割合					
	実技	保健内容の理解度	受講態度	合計	
総合評価割合	60	20	20	100	
基礎的能力	60	20	20	100	